

令和元年度授業改善推進プラン「各教科の課題」と「具体的な授業改善策」

小笠原村立小笠原小学校 6年生

	各教科の課題	具体的な授業改善策	改善の評価
国語	○書く能力の向上	○目的意識をもって書くことができる授業の工夫 ・行事を行った後に感想文を書いたり、学習活動のまとめとして作文にまとめたりするなど、目的を明確にして書かせるようにする。 ・総合的な学習の時間と関連付けて、調べたことをまとめたり、発表原稿を作ったりするなど、読み手や聞き手を意識させて書かせるようにする。	○自分が伝えたいことを文章に表す技能が向上した。 ○目的・相手に応じた文章を作成する技能が向上した。 △時系列を正しくしたり、相手に伝わりやすくする効果的な表現の工夫をしたりする。
社会	○社会的事象への関心・意欲・態度の向上	○自分の考えをもちながら学習を進められる工夫 ・説話を聞いたり、資料を読んだりして知った事実を基に自らの考えを練る時間を設けられるようにする。 ・事実や事象に対して、友達と考えを交流する機会を設け、考えを深めたり更に疑問をもったりして学習を広げられるようにする。	○学習に対する興味・関心の向上や学習への意欲が高い児童が増えた。 △資料の取捨選択、資料の読み取りをする力に個人差がある。
算数	○知識・理解の定着	○計算の仕方の習得を確実にする工夫 ・授業の構造化を図る。「習う→みんなでやる→自分でやる」 ・既習の方法を用いて繰り返し問題に取り組むようにする。学校で学習したことを家庭で取り組めるようにする。	○友達との学び合い、深め合いを通じた知識の獲得ができた。 △計算の技能に関する確実な定着の継続指導が必要である。
理科	○知識・理解の定着	○自然事象への関心を高める工夫 ・不変的な事象を知識として確実に獲得できるようにする。 ・実験器具の使い方や名称など、実験活動の機会を増やし、体験的に習得できるようにする。	○学習に対する興味・関心の向上や学習への意欲が高い児童が増えた。 ○実験方法、実験器具を操作する技能の獲得ができた。
音楽	○表現技能の向上	○音楽の楽しさを味わえる授業の工夫 ・歌唱・器楽では、安心して表現し、演奏できる雰囲気作りを行う。 ・1人では味わえない、クラス全員で味わえる音楽の良さを実感させる。	○合唱や合奏の中で1人では味わえない音楽の良さを実感した児童が増えた。
図工	○表現を工夫して深める力の向上	○様々な材料や用具の特徴を生かしながら主題を表す力を身に付けさせる授業の工夫 ・様々な材料や用具を総合的に工夫して使えるような題材の設定を図る。 ・主題について導入やワークシートなどを工夫して、考えを深めることができるようにする。	○題について導入やワークシートなどの工夫で考えや発想が深まった。 △基本的な技能が十分に身に付いていない児童が数名いる。
体育	○「20mシャトルラン」「ソフトボール投げ」の記録向上	○全身の協応操作と運動量を上げる授業の工夫 ・日常的に運動を行う機会を設け、自己の目標の達成を促進させる。	○学習のめあてを共通認識としてもち、個人の目標を共有して、グループ学習による学び合いができた。